

# 発掘された明石の歴史展公開事業について

## 1 展示業務

2020年(令和2年)10月31日(土)～12月6日(日)

明石市立文化博物館1階特別展示室で開催

タイトル「発掘された明石の歴史展～明石の港津～」

## 2 展示構成と主な展示物

1. 入江の遺跡:縄文時代の足跡、さざ波跡(垂水日向遺跡)
2. 港と遺跡:飯蛸壺、製塩土器(赤根川遺跡)
3. 運ばれてきたもの:輸入陶磁器
4. 運び出されたもの:魚住こね鉢(平安～鎌倉時代)
5. 港の構造:赤根川河口出土材
6. 出土船:丸木船を使った木棺(東仲ノ町遺跡)
7. 港周辺の文化遺産:御厨神社弁財船絵馬

## 3 関連事業

①講演会とシンポジウム 11月7日(土) 13:00～16:30

講演 高橋明裕「明石の港津」

丸山潔「明石港口の航路標識」

シンポジウム パネラー:高橋明裕、丸山潔/コーディネーター:稲原昭嘉

## 4 期間中観覧者数

1,432名

## 5 主なアンケート結果

- ・身近な地域の出土品が丁寧な解説で展示されていて興味深かった
- ・考古学的なモノの資料と史学的な文献の2つの視点から解説されていてわかりやすくおもしろかった
- ・港・川・海は遺跡を生み出すものだとしみじみわかった
- ・明石が歴史のあるまちと再認識した

